

令和4年度 第5回定例庁議 議事報告

開催日時：令和4年8月4日（木）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策推進担当】

1 開会

2 市長あいさつ

連日非常に暑い日が続いている。職員も体調管理に気を付け、万全の状態の仕事に臨んでほしい。

新型コロナウイルスの感染者数については、依然として高い水準が続いている。8月1日には、市内の小中学校に通う児童生徒の感染者数が29人であった。1日の感染者数としては、とても多い数字だと思う。感染を防止するためにも、引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いする。

現在、国では、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の位置づけについて見直しの動きがある。感染者の大半が軽症や無症状者で、医療提供体制の負担を招いている状況を踏まえると、議論を進める時期にきていると感じている。

本日、令和3年度一般会計の決算概要が議題となっている。市債現在高が減少し、基金現在高が増加しているなど、財政が改善されている状況を、職員にもしっかり伝えてほしい。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

(1) 連携中枢都市圏構想に係る取組について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（政策推進担当）

【質問意見等】

(保健福祉部長)

甲府市との連携協約の締結に当たり、構成市町がそれぞれ議会議決を経るとのことであるが、本市ではいつ議会に諮る予定なのか。

(政策推進担当)

12月議会を予定している。

(産業観光部長)

7月18日に峡東地域の農業技術等が世界農業遺産に認定された。連携中枢都市宣言書にそのことを加えても良かったと思う。

(総合政策部長)

連携協定は笛吹市と甲府市間の協定であるため、峡東地域の世界農業遺産に関する取組とは趣旨や目的等が異なる。

(市民環境部長)

連携中枢都市宣言は7月26日に行ったとあるので、その日より前に世界農業遺産に認定されたことを踏まえると、この宣言書に南アルプスユネスコエコパークのように、世界農業遺産のことを記載しても良かったのではないかと思う。

(総務部長)

先ほど総合政策部長が言ったとおり、連携協定は甲府市と笛吹市、甲府市と山梨市といったように、甲府市と各市町が相対して交わす協定であるため、峡東3市による世界農業遺産の取組とは考えが異なる。まずはそこをおさえてほしい。

(市民環境部長)

連携中枢都市宣言書に南アルプスユネスコエコパークの記載があったので、世界農業遺産のことを記載すればピーアールになるのではないかと思いい発言した。今後、何かの折に、ピーアールしていくことも良いと思う。

(市長)

この取組については、現時点で具体的な事業等が決定しているわけではなく、連携していくための枠組を構築しているという状況である。

現在、甲府市を含めた国中の6消防本部では、消防通信指令センターを共同運用することを目指して取組を進めている。当初、甲府市は不参加の方針を示していたが、連携中枢都市圏構想の圏域形成に向けた首長準備会において、首長の中から、消防通信指令センターの共同運用の検討に県都である甲府市も参加し、甲府市と周辺団体との信頼関係を構築することが圏域形成に向けた前提になるとの発言があり、これを踏まえ、甲府市が方針を変更し、消防通信指令センターの共同化に参加することとなった。それならば、各市町でも、連携中枢都市圏構想の取組に協力していこうということとなり、連携中枢都市宣言に至った経過がある。

(2) 令和3年度一般会計決算概要について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長、財政担当L）

【質問意見等】

（保健福祉部長）

資料2ページの決算収支の表を見ると、令和3年度の単年度収支及び実質単年度収支がそれぞれ約3億円赤字になっているが、その理由は何か。

また、一般的には黒字化していくことが理想だと思うが、財政課として今後の見通しや方針等があれば教えてほしい。

（財政課長）

単年度収支とは、当該年度の収支の均衡がどうであるかを表したものである。令和3年度の実質収支額から令和2年度の実質収支額を引いた額であるので赤字となっている。

実質単年度収支については、単年度収支に黒字要素として財政調整基金の積立額を加え、赤字要素として財政調整基金の取り崩し額を差し引いた額である。

（保健福祉部長）

令和3年度の翌年度繰越財源が、昨年度と比べて3億8,000万円程度増えているが、この影響で単年度収支等が赤字になったということか。

（財政課長）

実質収支とは歳入歳出差引総額から翌年度に繰り越すべき財源を控除したもので、実質的な剰余金である。これが、令和3年度から令和4年度は約19億円、令和2年度から令和3年度は約22億円であった。その差額を単年度で比較した単年度収支は、令和3年度は令和2年度と比べて約3億円少なくなったということである。

(総合政策部長)

財政運営は実質収支を黒字にすることが基本的な考えとなる。このため、財政課としては、基金の積立額によって変動する単年度収支や実質単年度収支を黒字にすることよりも、実質収支を黒字にすることを重要視している。

4 その他

※令和4年度第6回定例庁議

令和4年9月8日(木) 午後1時15分～ 本館3階302会議室

※令和4年笛吹市議会第3回定例会 代表質問、一般質問答弁検討日程

9月6日(火)・7日(水)終日、9月8日(木)午前、9月9日(金)終日

5 閉会

午後2時00分閉会